

# 12月議会

11月26日～12月23日

岡田議員は11日の一般質問で①認知症の人も家族も安心して暮らしていくために②コロナ禍により浮き彫りになったジェンダー平等について③土山公民館の洋式トイレ化の実現を④「結婚新生活支援事業」を導入し新婚世帯の支援を質問。小西喜代次議員は14日に、①新型コロナウイルス感染拡大防止の抜本的対応を②コロナ禍のもとで事業の維持、地域経済を持続可能にする支援策を③第二期滋賀県国民健康保険運営方針への対応について④より便利な公共交通への改善について、を質問しました。



岡田 重美 議員



小西 喜代次 議員

岡田重美議員は、①認知症の人も家族も安心して暮らしていくために、②コロナ禍で浮き彫りになったジェンダー平等社会への課題について、③土山公民館の洋式トイレ化の実現を、④「結婚新生活支援事業」を導入し、新婚世帯の支援を、の4項目について質問しました。

認知症は誰もがなる可能性のある病気であり、進行すると生活に支障が生じることから、認知症の理解を広げる必要性、物忘れ健診の実施、早期発見・早期治療の体制強化などについて問いました。市内に整備されている認知症疾患医療センター、認知症サポート医、認知症相談医などについて周知していくとのこと。また、グループホーム利用料補助の実施も求めましたが、今後考えていくとの答弁でした。

医療や介護の現場は比較的女性が多いですが、コロナ禍のもと危機的状況に対応できるよう、社会的また専門性にふさわしい処遇の保障、DVの相談窓口の周知、充実などを求めました。

以前の質問時、改修に着手すると答弁があったものの、実施に至っていないことから、再度、洋式トイレ化の実現を質問しました。早急に整備を進めるとのこと。

国の支援事業を活用し、結婚に伴う負担軽減をすべきと問いました。事業の内容をみながら検討していくとのことでした。

小西喜代次議員は、①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市独自の検査体制とともに、信楽中央病院でのPCR検査の具体化、市立の医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など集団感染のリスクが高い施設の職員らに定期的なPCR検査の実施とともに、同様の民間施設にも定期検査を働きかけ、財政的援助を行うよう提案しました。PCR検査については、県において、一元的・総合的に整備されるのが望ましく、今後とも引き続き要望していきたいとのこと、独自の体制をとる考えはないとの答弁。

②コロナ禍のもとで事業の維持、地域経済を持続可能にするための支援策、財源確保策など国への具体的な要望を働きかけることを求めました。市内事業者の状況は「予断を許さない状態」で、事業者に必要な支援策を精査するとの答弁。

③国保の県での統一化にむけた、第二期滋賀県国民健康保険運営方針は、そもそも無理があることから、実態に即した対応方針を県に示すこと、国保税の子どもの均等割りの軽減措置を求めました。

④便利な公共交通への改善にむけ、年間で350万円とされる75歳以上の信楽高原鐵道の無料乗車制度の実証運転、信楽町の勅旨地域や長野区等、コミバス・コミタク運行の抜本的な見直しを求めました。

## 血も涙もない冷酷政治

### すすむ受診控え、撤回の声を大きく

#### 75才以上医療費2割負担に

政府は2割負担の導入を「現役世代の負担軽減のため」と説明していますが、後期高齢者医療制度を導入した際、高齢者の医療費のうち45%が国庫負担だったものを35%に切り下げ、それを現役世代に肩代わりさせるとともに高齢者自身の負担に転換する仕掛けをつくったのが、後期高齢者医療制度です。

今の窓口負担でも受診控えでの手遅れが社会問題となっています。

1割負担を維持するのに必要な国費負担は880億円で、政治の姿勢一つで財源はつくられる金額で、現役世代の年間負担減は800円です。

### 議長除く全議員が質問に 本会議で5日間

11月26日に4党派による代表質問、9日から14日まで議長を除く19人全議員が一般質問を行いました。

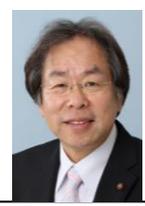
日本共産党議員団はこれまでテーマを分担して、全員が毎議会質問を行っています。全議員が質問を行うのは近年まれで、市民の代表としての役割を果たすうえで大切です。

今議会は、岩永市長2期目のスタートの議会でもあり、所信を質するのは当然ですが、市民との関係で国政に対する市長の姿勢や新年度予算に対する考えを質したのは山岡光広議員のみでした。2期目の最初に、市長の政治姿勢を問うことは大切なこととです。

また、コロナの感染拡大が深刻な事態となっているもとで、感染拡大防止対策を取り上げたのは党議員の他は1人だけでしたが、今日的に議論を深めるべき課題です。

幼・保小中学校再編計画促進の立場からの質問が3人からありましたが、コロナ禍の下で浮き彫りになったのは小人数学級、小規模校の役割ではないでしょうか。

**日本共産党**  
**甲賀市議員団ニュース**  
 2020年 12月 20日 第337号



山岡 光広  
 甲南町森尻 16  
 TEL 86-2985  
 Fax 86-0415



小西喜代次  
 信楽町勅旨 456  
 TEL 83-0765  
 Fax 83-0765



岡田 重美  
 土山町南土山甲 78-15  
 TEL 66-0696  
 Fax 66-0696